

◆2月オンライン研修・講習会の配信内容

国際交流委員会企画【講演1・2】

国際交流委員会企画【講演1・2】

※お申込みは「講演1」「講演2」は別途になります。

受講される方は、両方とも受講されることをお勧めします。

タイトル（講演1）	「認知症患者用音楽評価尺度 (Music in Dementia Assessment Scales:MiDAS)とは何か: その背景と有用性, そして今後」その1
タイトル（講演2）	「認知症患者用音楽評価尺度 (Music in Dementia Assessment Scales:MiDAS)とは何か: その背景と有用性, そして今後」その2
講師名	英国ノッティンガム大学医学部精神科 ・ 応用心理学科講座 上級研究員 Orii McDermott 博士（オリイ・マクダーモット博士）
主な内容紹介	Music in Dementia Assessment Scales (MiDAS) https://www.musictherapy.aau.dk/midas/ は、中等度または重度の認知症者の観察可能な音楽的関与を評価するために開発されたものです。その後2013年には、心理測定的な信頼性が検証されました。現在、MiDASは、デンマーク語、ノルウェー語、スペイン語、フランス語、ポルトガル語、アイスランド語に翻訳されています。講義では、アウトカム尺度としてのMiDASの開発や評価について解説し、現在の臨床実践へのMiDASの活用、および今後の活用に関する研究や課題点についてお話しします。また、私や仲間の取り組みから導かれた、より広範囲にわたる認知症の心理社会的研究におけるアウトカム尺度の活用について論じます。
プロフィール	ノッティンガム大学医学部精神応用心理学部の上級研究員。認知症の心理社会的介入研究を専門とし、EU資金による早期認知症研究者向けのトレーニングネットワーク DISTINCT (https://www.dementiadistinct.com) のプロジェクトマネージャー。英国の国立保健サービス (NHS) ファウンデーショントラストにて、ロンドン中心部および北西部で音楽療法を実践。Nordic Journal of Music Therapy、Journal of Music Therapy、Music&Science、Aging & Mental Healthの編集委員。